

東御市の持続可能なまちづくりに向けた課題のまとめと論点

	見えてきた課題など	論点	反映の方向性
1. 人口	・人口減少・少子高齢化が更に進行するものと推計されており、生産年齢人口の減少に伴う税収減も想定される中、いかに効率的な都市を構築していくか(コンパクト+ネットワーク) ・地区別の人口格差が顕在化しており、特に児童数で大きな差が出てきている中で、それぞれの地区でいかにコミュニティを維持していくか。	・持続可能な都市づくりにおいて、行政サービスの提供エリア(上下水道、道路など)を精査していくことも考えられるが、実現に向けて必要な取り組み ・各地区において、コミュニティを守っていくうえで、維持していくべき施設について	・都市計画マスタープランの土地利用構想の中で居住エリアについての考え方を整理する。 ・立地適正化計画の中で、各地区での暮らしを守っていくために配置する機能を整理する。
2. 土地利用	・用途地域白地地域において、農地転用・宅地化が進行しており、ライフライン維持など行政コストの拡大や営農環境への悪影響への対応が必要。 ・増加している空き家の利活用	・安易な農地転用の防止に向けて必要な取り組み ・都市部からの移住者などの受け皿として空き家の活用を図っていくうえで、必要な取り組み	・都市計画マスタープランの土地利用構想の中で居住エリアについての考え方を整理する。 ・空き家の活用方策について整理する。
3. 道路・交通	・歩行者や自転車が安全に通行できる環境づくり ・公共交通(バス)の維持及び利用促進	・地形条件の制約がある中で、特に改善を図っていくエリア(路線) ・バス路線の維持や利用増進のために必要な取り組み	・安全に通行できる道路環境づくりの方針を整理する。 ・ネットワークの考え方を整理する。
4. 公園・緑地	・子どもの身近な遊び場の不足と、都市公園配置の地区間格差への対応	・子どもの遊び場確保や、公園の維持管理に向けた住民との連携のあり方	・公園・緑地整備の方針を整理する。
5. 景観	・眺望景観の保全や幹線道路沿道における景観形成	・市として守っていきたい景観、改善したい景観についての考え方	・景観の維持・改善の方針を整理する。

6. 安全・安心	・災害に強いインフラ整備 ・市民の防災意識の高揚 ・地区ごとに異なる災害リスクに対する、避難場所・避難路等の検討	・災害に強い都市づくりに向けて必要な取組みや、住民と行政の連携のあり方	・立地適正化計画における防災指針の中で、具体的な取組みを整理する。
7. 都市構造評価	・近隣都市との比較を踏まえ、本市の弱みとなる部分（高次医療への対応や、商業機能の不足など）は都市間連携による機能補完が必要	・客観的なデータによる近隣都市との比較を踏まえ、市の強みを活かし弱みを軽減していくための考え方	・強みを生かしつつ弱みを軽減していきながら暮らしやすさを確保していくための方針を整理する。